



ブライツ・アセット株式会社

米国先物市場での銀行勘定のポジション (CFTC 報告)

米国商品先物取引委員会(CFTC)の銀行勘定

米国商品先物取引委員会(CFTC)は、週次のポジション・レポート以外に銀行勘定だけのポジションを月次で公表しています。毎月月初の火曜日の引け時点を基準に集計しています。主要な金融商品先物の4月最新のネット・ポジションをまとめてみました。きわめて変動が大きかったのが、為替のユーロでした。3月に米銀がユーロ安方向に大きくポジションを振り切っています。ご参考になれば幸いです。

マーケティングセールス部

2020/04/17

金融商品取引業者：ブライツ・アセット株式会社
登録番号：関東財務局長（金商）第3102号
加入協会：一般社団法人第二種金融商品取引業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
HP：www.brightasset.co.jp

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的としてブライツ・アセット株式会社が作成した資料です。投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。投資に関する決定は、お客様ご自身で判断なさるようお願いいたします。

米国先物市場での銀行勘定のポジション(CFTC 報告)

銀行参加レポート(BPR)

1980年代以降、CFTCは毎月、米国の銀行当局および国際決済銀行（BIS、スイスのバーゼルにある）が、さまざまな金融商品および非金融商品の先物に参加している銀行の大口取引者のポジションを集計しています。BISは独自の出版物でこの集計データの一部を使用していたため、90年代後半から、CFTCはWebサイト（cftc.gov）にパブリックアクセス用の「銀行参加レポート」（BPR）を発表しています。

個別のレポートが先物とグロスオプション（デルタ調整なし）について生成されています。BPRには、5つ以上の銀行が報告可能なポジションを保有するすべての市場のデータが含まれています。BPRは銀行のポジションを2つのカテゴリーに分けます。銀行および米国以外銀行-各タイプについて、商品のロングとショートの総商品市場ポジションの合計を示します。参加者の市場ポジションの機密性を保護するため（商品取引所法の§8（a）で要求されるように）、いずれかのカテゴリー（米国の銀行または非米国の銀行）の市場の銀行数が4つ目は、2つのカテゴリーそれぞれの銀行数を省略し、それぞれの市場について銀行の総数のみを示しています。

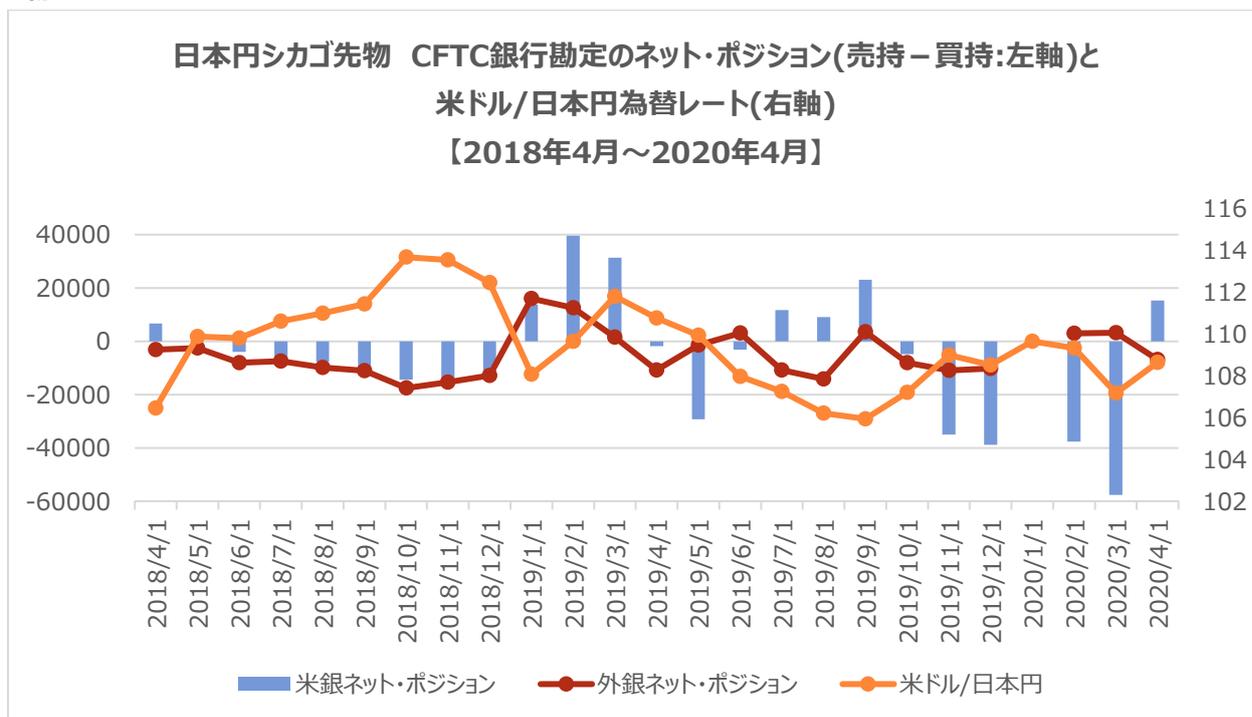
さらに、BPRは、大口のトレーダーのコミットメントレポート（COT）を作成し、先物、オプション、およびスワップ市場を監視するために使用されるのと同じ大口トレーダー・レポート・システム・データベースに基づいています。BPRの「米国銀行」および「外国銀行」というトレーダー分類は、CFTCフォーム40からの質問に対するトレーダーの回答に基づいており、スタッフの承認が必要です。各トレーダーは、最初に報告可能になると、CFTCフォーム40を提出します。トレーダーが引き続き報告可能な場合は、約2年ごと、またはCFTCの要請により報告するようになります。CFTCフォーム40を提出するとき、各報告可能なトレーダーは、その事業活動または業務に関連する事業セクターおよびサブセクターを自己申告します。複数のビジネス・サブセクターが選択されている場合、CFTCフォーム40はトレーダーに、レポートするトレーダーのビジネスの特徴を主に説明するビジネス・サブセクターを示すように要求していることに注意することが重要です。

さらに、報告可能なトレーダーが米国の商業銀行または米国以外の銀行であると判断された場合もしくは任意の1つの商品における商業銀行の場合、その指定は、BPRで公開されるすべての商品においてその地位が適用されます。特定の企業には、1つまたは複数の取引事業体があり、その中には米国商業銀行または非米国企業があります。商業銀行、または非銀行の場合、各取引事業体は、個別の報告可能なトレーダーであり、個別のフォーム40を提出する可能性があります。米国の商業銀行または非米国のいずれかに分類されるトレーダーのみがBPRで報告されています。

月次BPRの現況レポートまたはデータの日付は、通常、毎月の最初の火曜日ですが、Webサイトでの公開は、通常、東部標準時間の3:30直後の最初の金曜日に行われます。ただし、月の最初の火曜日が米国の休日である場合、レポートは次の火曜日のデータを利用し、次の金曜日にCFTCのWebサイトに公開されます。BPRの公開スケジュールの詳細については、BPRのリリーススケジュールをご覧ください。

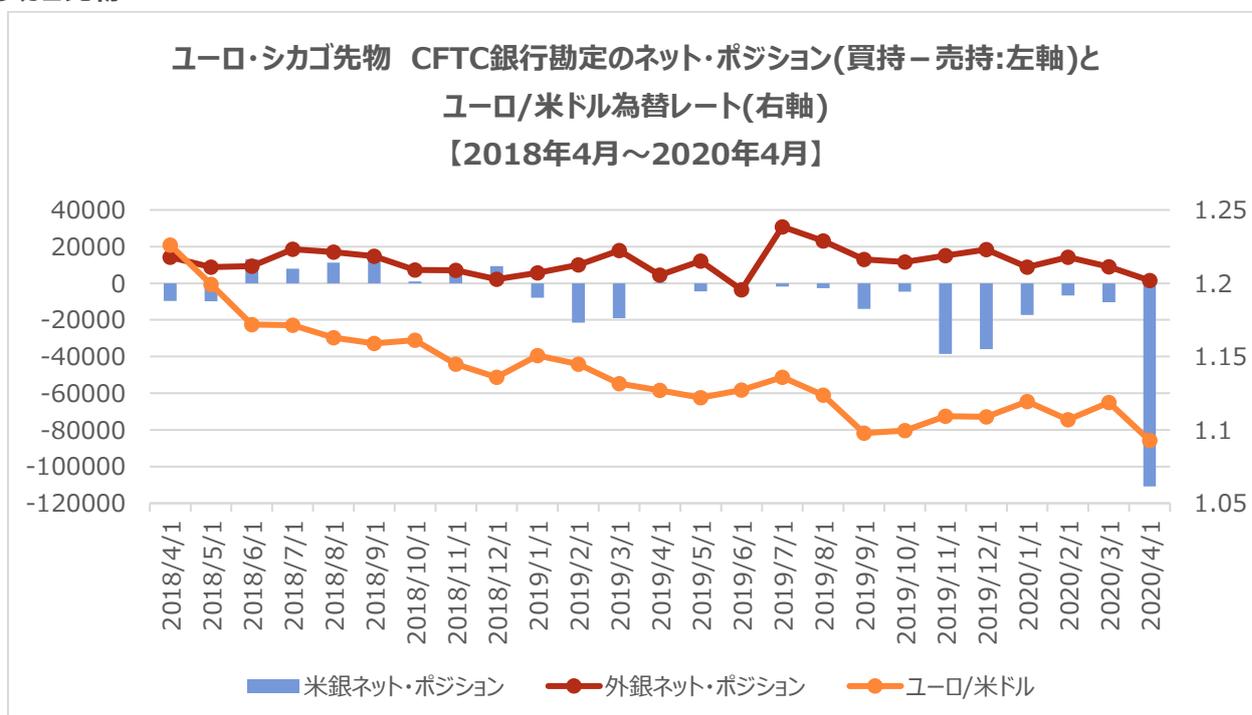
過去のBPRに関する注意。連邦の記録要件に準拠して、CFTCは委員会のウェブサイトに投稿された最新の25か月間のBPRデータのみを公開しています。

日本円先物



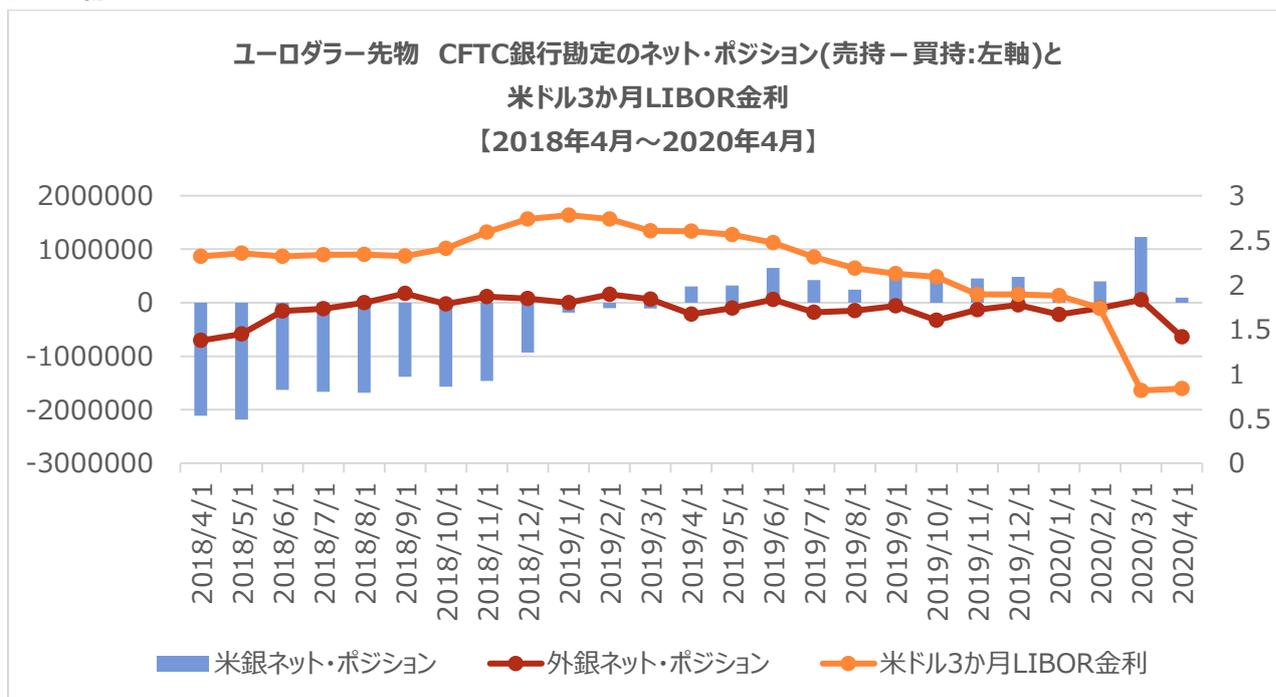
日本円先物は、日本円が基準で取引されているため、ネット・ポジションの計算は、売持－買持としています。3～4月にかけて米銀は円安・ドル高のポジションをとったようです。米銀は昨年秋以降2月いっぱいまで相当円高方向のポジションをとっていたようでした。3月の乱高下は米銀のショートカバーだったのかもしれませんが。

ユーロ・シカゴ先物



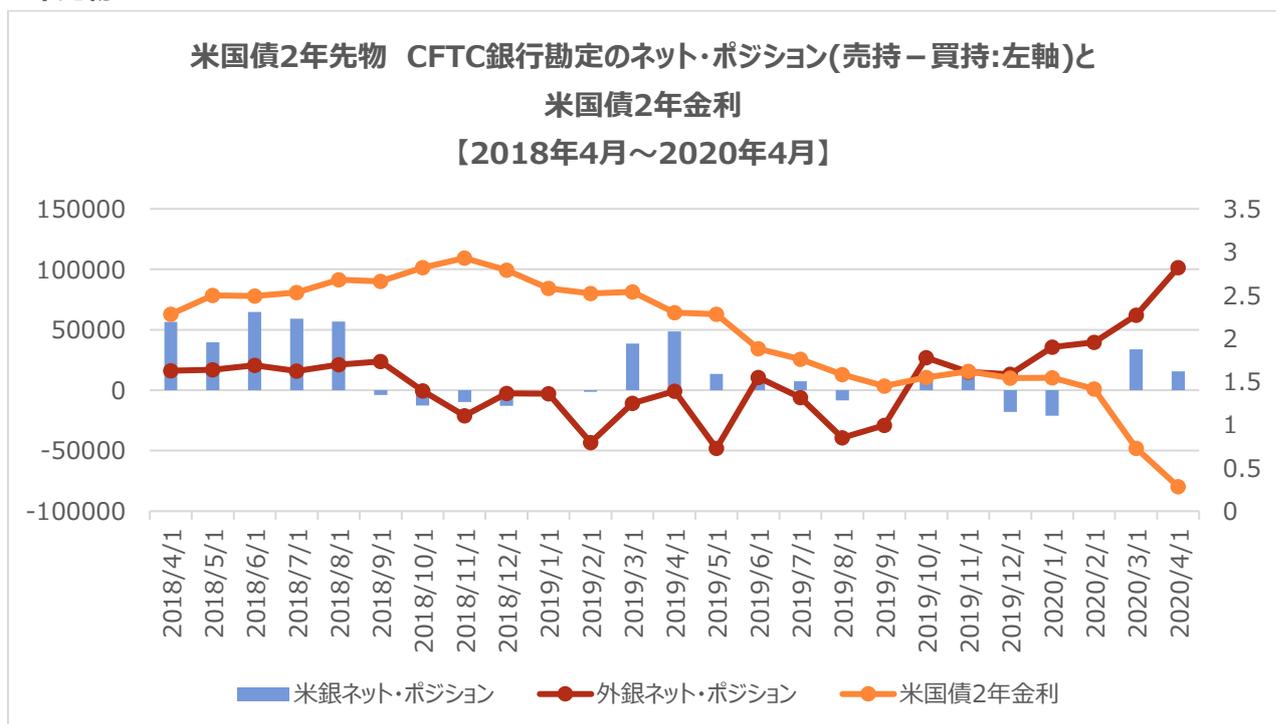
ユーロ先物は、基準がユーロのため、ネット・ポジションの計算は、買持－売持としています。3月に米銀はユーロ安方向に大きくポジションを傾けたようです。ユーロ・ロングはゼロという徹底ぶりでした。この先米銀のポジション変更はユーロ/米ドルの動向に影響を及ぼす可能性があります。

ユーロダラー先物



ユーロダラー先物は、クオートが 100 - 金利で逆数になるため、ネット・ポジションの計算は、売持 - 買持としています。3 月の利下げで米銀・外銀ともに金利安の方向に大きくポジションを傾けたようです。

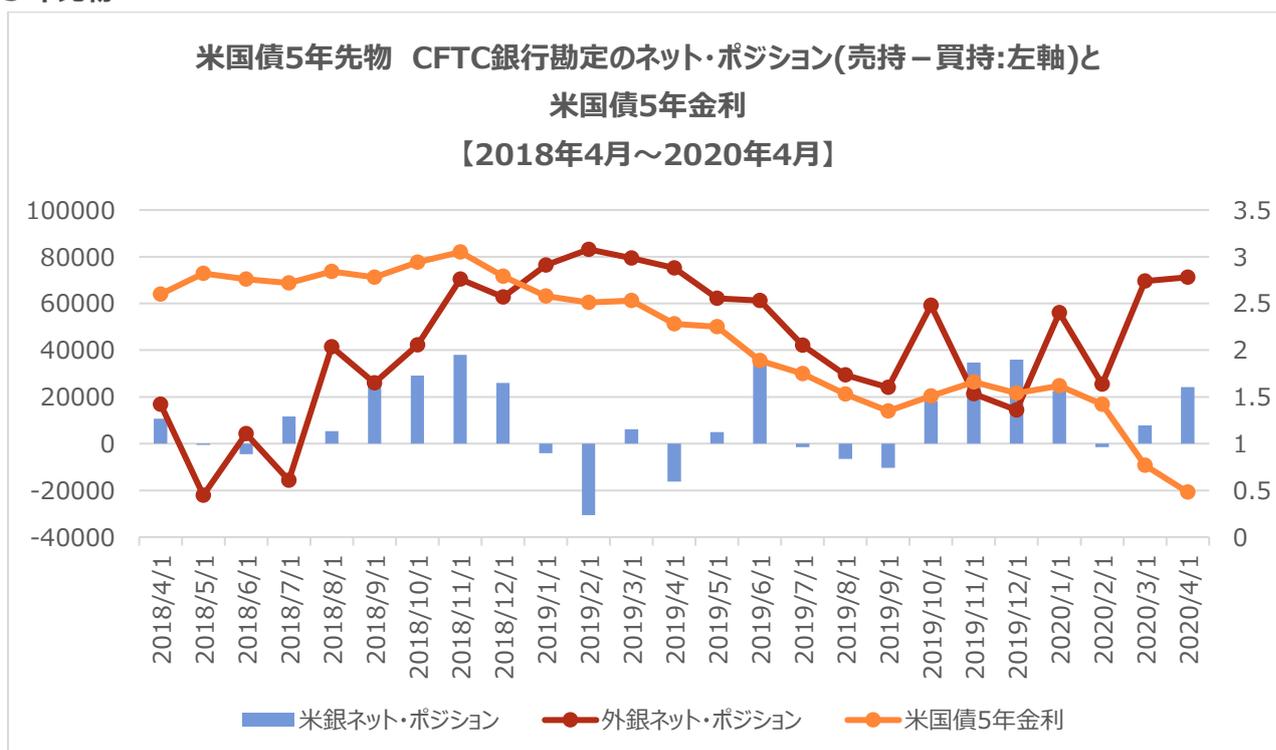
米国債 2 年先物



米国債 2 年先物は、クオートが価格で金利と逆数になるため、ネット・ポジションの計算は、売持 - 買持としています。3 月の利下げで米銀は若干金利上昇を減少させ、外銀は金利高の方向(ヘッジ・ポジション)に大きくポジションを傾けたようです。

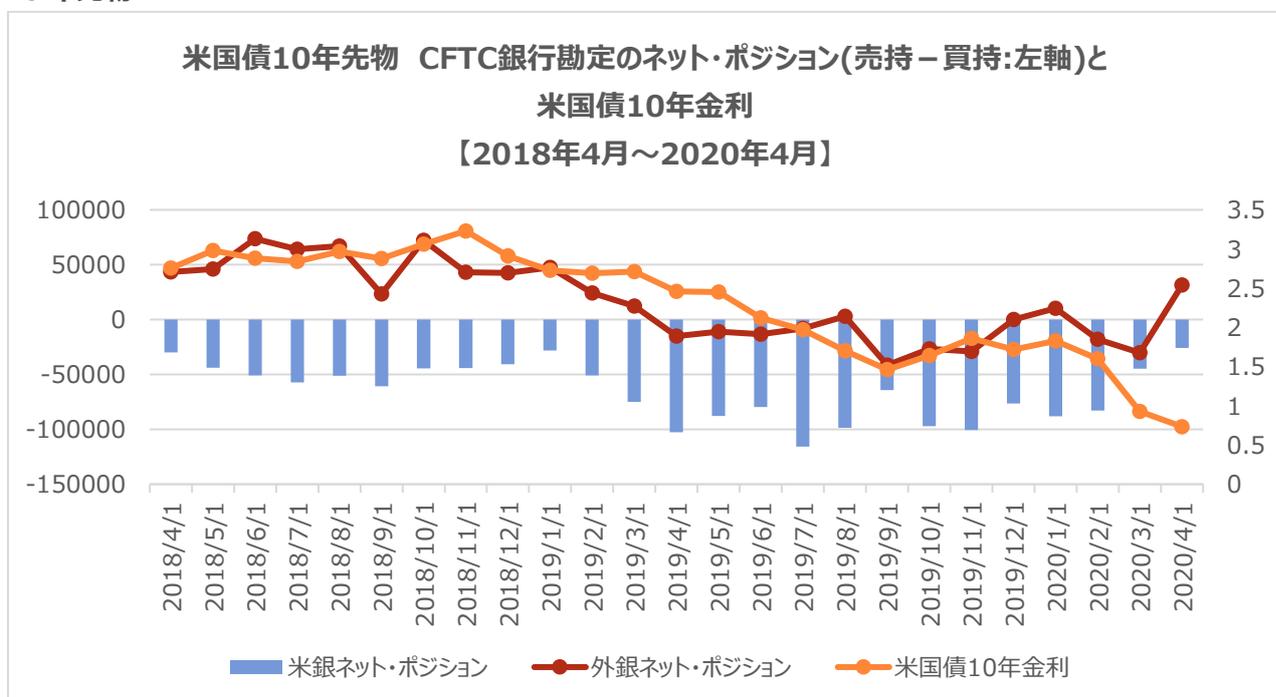
当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的としてブライト・アセット株式会社が作成した資料です。投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。投資に関する決定は、お客様ご自身で判断なさるようお願いいたします。

米国債5年先物



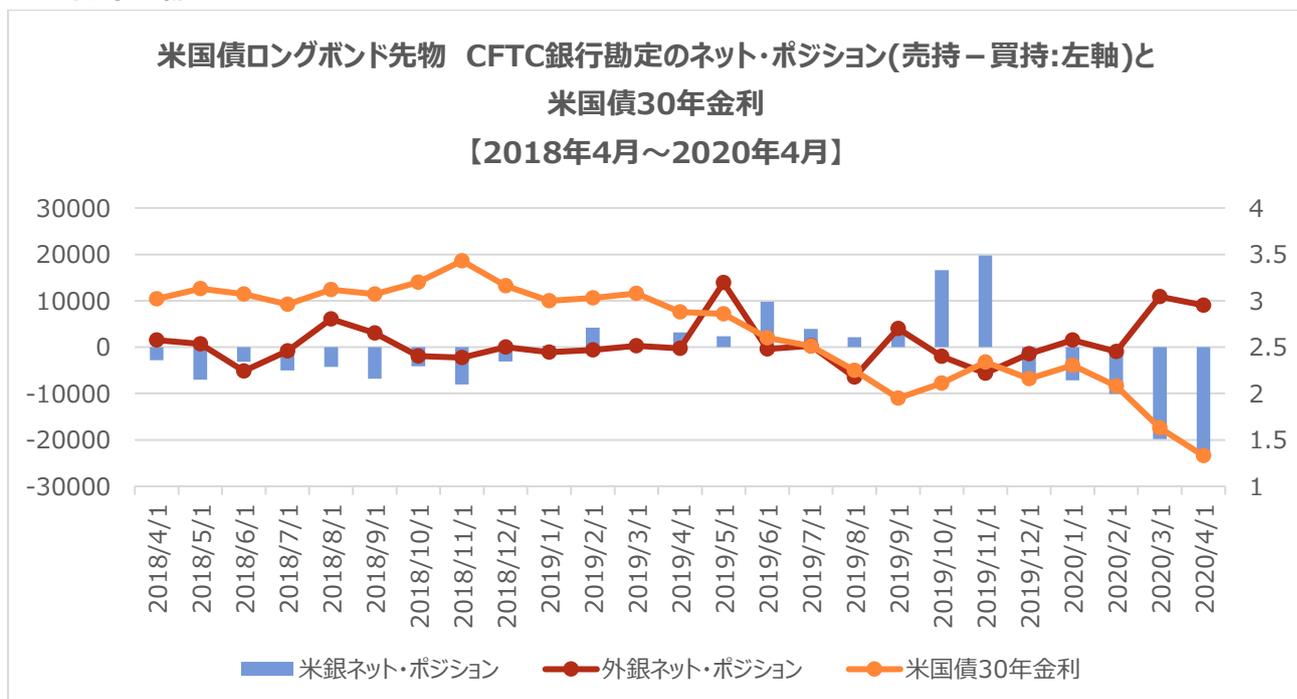
米国債5年先物は、クオートが価格で金利と逆数になるため、ネット・ポジションの計算は、売持－買持としています。3月の利下げ前から米銀・外銀とも金利高の方向(ヘッジ・ポジション)に大きくポジションを傾けたようです。外銀は完全にヘッジのポジションになっているようです。

米国債10年先物



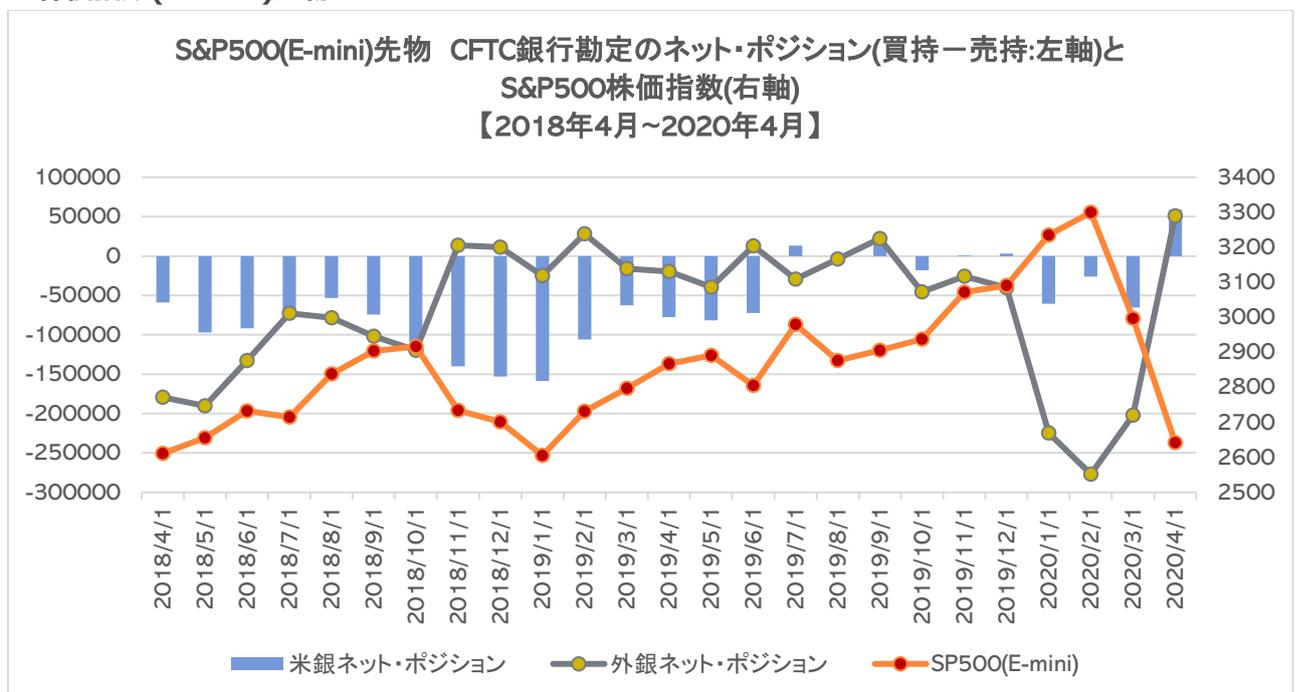
米国債10年先物は、クオートが価格で金利と逆数になるため、ネット・ポジションの計算は、売持－買持としています。3月の利下げ前後から米銀・外銀とも金利高の方向(ヘッジ・ポジション)にポジションを傾けたようです。外銀はヘッジ・ポジションとなっていますが、米銀はまだ金利低下方向のポジションが残っています(コンベキシティー・ヘッジを残しているのかもしれませんが)。

米国債ロングボンド先物



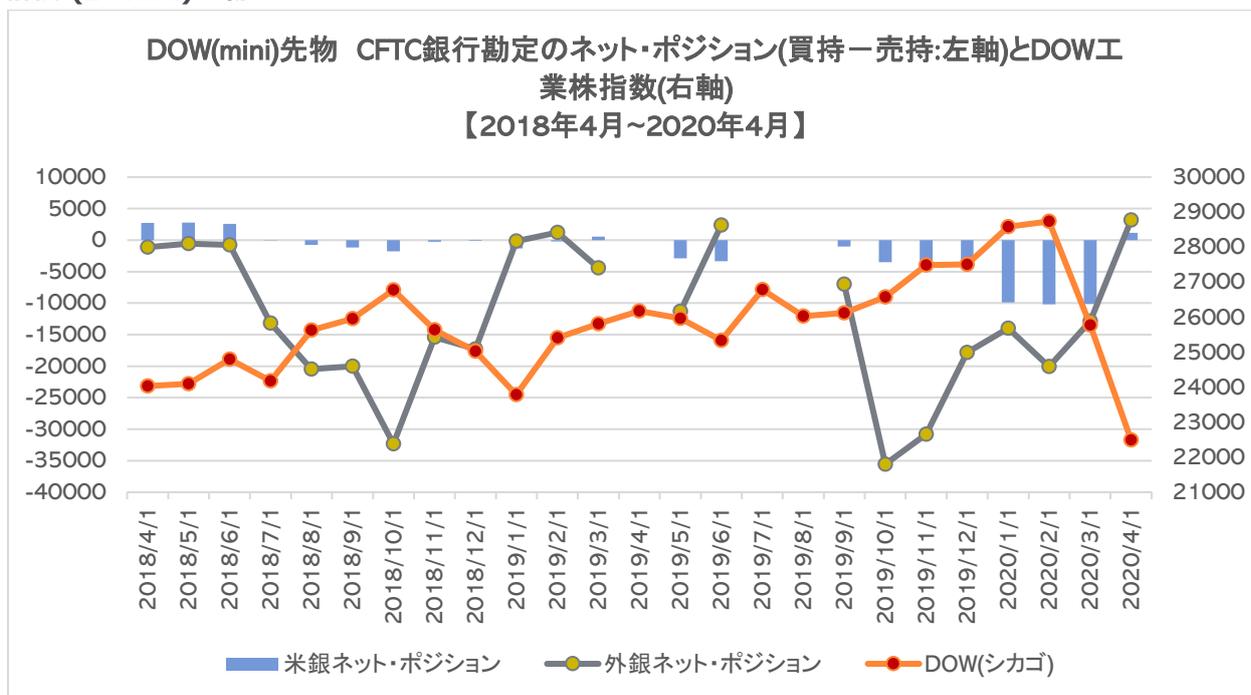
米国債ロングボンド先物は、クオートが価格で金利と逆数になるため、ネット・ポジションの計算は、売持－買持としています。3月の利下げ前後から米銀は金利安の方向のポジションを増加させています。一方外銀は金利高の方向(ヘッジ・ポジション)にポジションを傾けたようです。外銀はヘッジ・ポジションとなっていますが、米銀はまだ金利低下方向のポジションが残っています(コンベキシティー・ヘッジを残しているのかもしれませんが)。

S&P500 株価指数(E-mini)先物



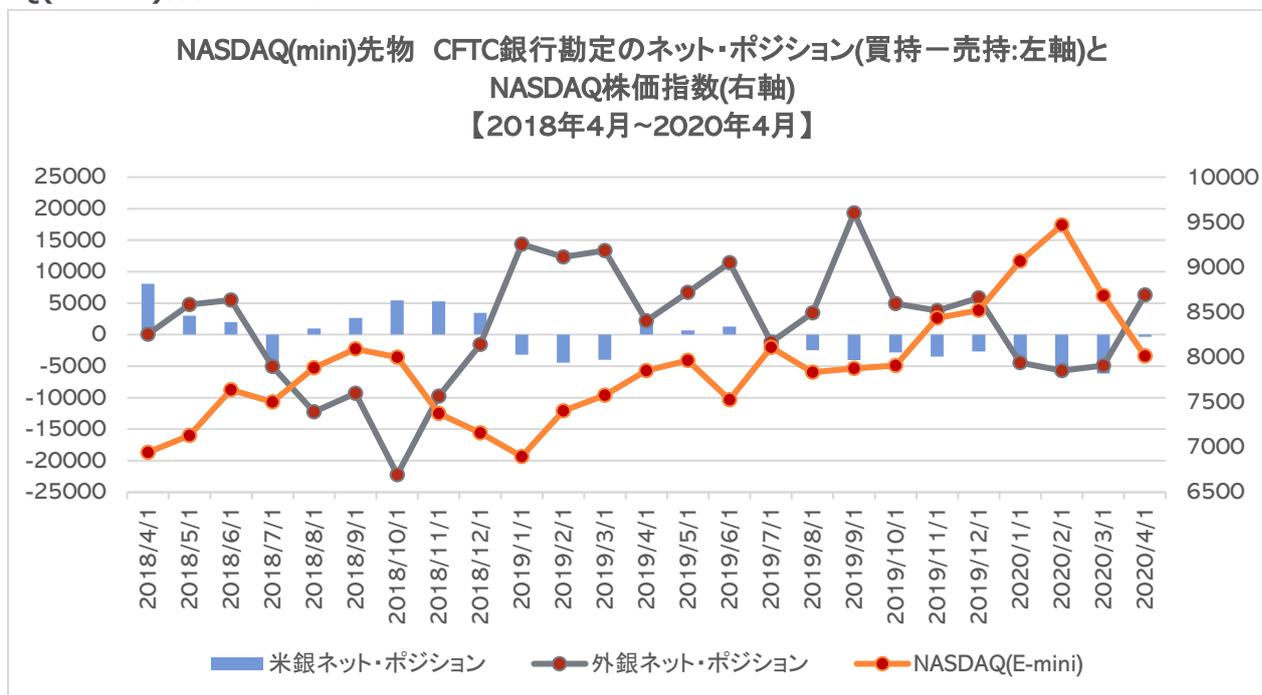
米国株式の S&P500 株価指数先物は、クオートが価格ですので、ネット・ポジションの計算は、買持－売持としています。3月の暴落局面で、外銀は昨年年末以来増やしていたショート(ヘッジ)を一気にショートカバーしています。一方米銀はそれほどショート(ヘッジ)を持っていなかったようでショートカバーはしたようですが、今は若干のロングとなっているようです。

ダウ株価指数(E-mini)先物



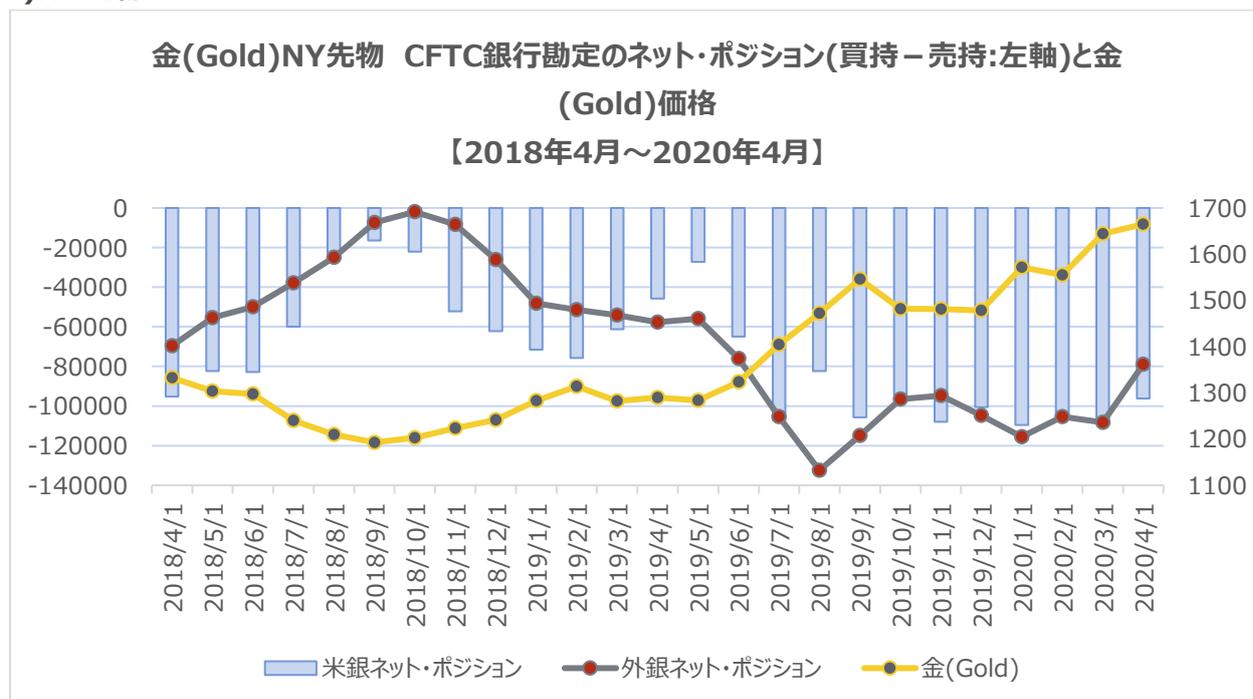
米国株式のダウ株価指数先物は、クオートが価格ですので、ネット・ポジションの計算は、買持－売持としています。3月の暴落局面で、外銀は昨年9月に増やしていたショート(ヘッジ)を昨年末以降ショートカバーしています。一方米銀はそれほどショート(ヘッジ)を持っていなかったようでショートカバーはしたようですが、今は若干のロング(ニュートラル)となっているようです。

NASDAQ(E-mini)株価指数先物



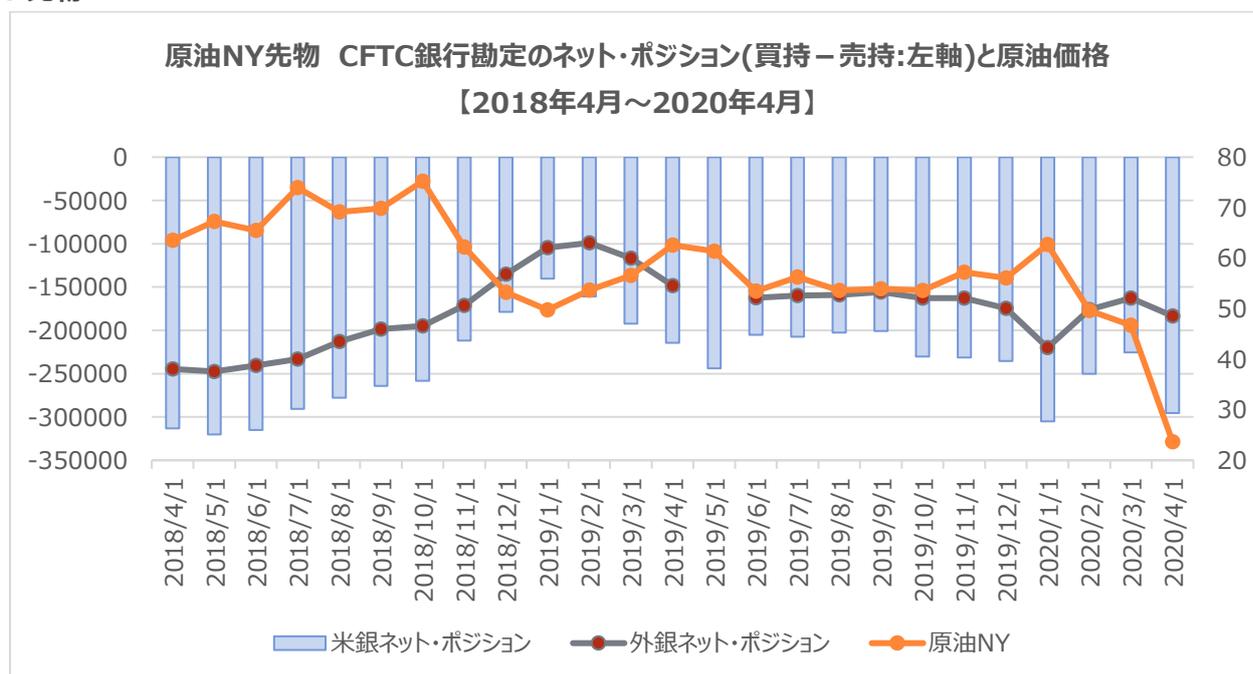
米国株式のダウ株価指数先物は、クオートが価格ですので、ネット・ポジションの計算は、買持－売持としています。3月の暴落局面で、外銀は年初来増やしていたショート(ヘッジ)をショートカバーしています。一方米銀はそれほどショート(ヘッジ)を持っていなかったようでショートカバーはしたようですが、今は若干のロング(ニュートラル)となっているようです。

金(Gold)NY先物



米国 NY の金(Gold)先物は、クオートが価格ですので、ネット・ポジションの計算は、買持-売持としています。2~3 月の上昇局面で、若干ですが米銀のショートカバーが起っています。外銀も昨年夏以降ショートカバーしています。

原油 NY 先物



米国 NY の原油先物は、クオートが価格ですので、ネット・ポジションの計算は、買持-売持としています。2~3 月の下落局面で、若干ですが米銀はショート(ヘッジ)を増やしています。外銀も若干ですがショートを増やしているようです。